

0010



141113

〒535-0005 大阪市旭区赤川2丁目10番31号

株式会社 村上衡器製作所

URL: <http://www.murakami-koki.co.jp/>

TEL: (06)6928-7571(代) FAX: (06)6928-1099



梱包箱から本体を取り出すとき、指針②の先端はとがっかっていますのでご注意ください。

1. 部品の点検

下記の部品が揃っているかご確認ください。

・皿④ 2枚

・組分銅(分銅及びビレット) 1組

MS-50型 (ひょう量: 50g) 20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, 50mg, ビレット 各1個

MS-100型 (ひょう量: 100g) 10g, 2g, 200mg 各2個

MS-100型 (ひょう量: 100g) 50g, 20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, ビレット 各1個

MS-200型 (ひょう量: 200g) 10g, 2g, 200mg 各2個

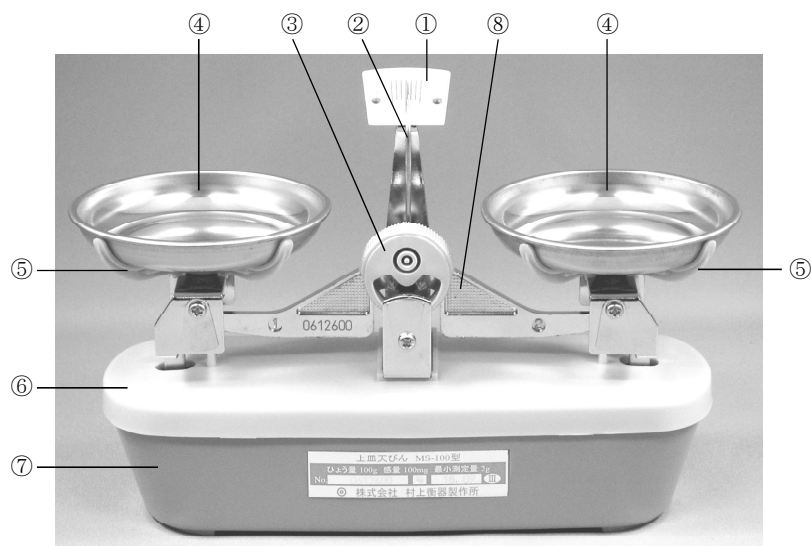
MS-200型 (ひょう量: 200g) 100g, 50g, 20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, ビレット 各1個

MS-200型 (ひょう量: 200g) 10g, 2g, 200mg 各2個

仕様	品番	型名	ひょう量	感量	皿径	概略外形寸法	本体重量
	1300	MS-50	50g	50mg	80mm	195(W) × 80(D) × 135(H)mm	295g
	1010	MS-100	100g	100mg	80mm	195(W) × 80(D) × 135(H)mm	295g
	1040	MS-200	200g	200mg	85mm	205(W) × 85(D) × 135(H)mm	300g

各部の名称

- ①度表 (どひょう)
- ②指針 (ししん)
- ③ゼロ点ツマミ
- ④皿
- ⑤皿受け
- ⑥取付台
- ⑦保護ケース
- ⑧桿 (さお)



外観図

2. 組立・設置方法

- 2-1 器物番号が桿⑧と皿④の表側に表記してありますから、これが本体のネームプレートの番号と一致しているかお確かめ下さい。
- 2-2 この天びんは精度（ひょう量と感量の比）が、1/1000と精度の高い計量器ですから、直射日光をさけ湿気・振動・風の少ないところで、水平に保って使用・保管願います。
- 2-3 皿④の表側には1・2の番号が表記してありますから、向かって左側の皿受け⑤に1の皿④を右側の皿受け⑤に2の皿④をのせて下さい。

3. 性能検査方法

- 3-1 皿④の上に何ものせずに、桿⑧の中央にあるゼロ点ツマミ③を左右に回して、指針②が度表①の目盛線の真中を中心として、左右に等しく円滑に振れるよう調整します。（0点の調整）
- 3-2 感量に相当する分銅を片方の皿④にのせて、指針②が約1/2目盛以上振れるか調べて下さい。（感度の確認）

4. 使用方法

【決まった質量(一定量)の試料をはかりとる場合】

- 4-1 左の皿④に決まった質量に相当する分銅をのせて下さい。
- 4-2 右の皿④にはかりとりたい試料をのせて指針②が中心から左右に等しく振れるようになれば、はかりとり完了です。

【試料の質量をはかる場合】

- 4-3 左の皿④にはかろうとする試料をのせて下さい。
- 4-4 右の皿④に分銅を重い順にのせて指針②が中心から左右に等しく振れるようになったとき、のせた分銅の合計が求める試料の質量です。

注意

- 1 ご使用前に前項3の性能検査を必ず行って下さい。
- 2 左利きの人は試料と分銅の位置を反対にして使用して下さい。
- 3 皿④を汚すおそれのある試料をはかる場合は、紙片などを皿④に敷いてその上に試料をのせて下さい。また試料がついたときはきれいにふきとって下さい。
- 4 分銅はピンセットで扱って下さい。

5. 使用上の注意

故障や誤計量をさけるため下記の注意事項をお守り下さい。

- 5-1 天びんの金属部分には防食表面処理を施してありますが、腐食性の強い試料がこぼれた場合には、よく拭き取って下さい。
- 5-2 分銅及び試料は皿④の中央にのせるようにして下さい。
- 5-3 本体の水洗いや内部への注油等は絶対にしないで下さい。
- 5-4 保管する際は、湿気の少ない、腐食性ガス等が発生しない場所に置くようにして下さい。

6. その他

- 6-1 保護ケース⑦内部の清掃は、保護ケース⑦から取付台⑥を外すことにより簡単に行えます。
- 6-2 部品違いや故障その他のお問い合わせは販売店又は弊社までご連絡下さい。
- 6-3 補修用部品及び補充用分銅の販売も致します。